

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「SBI 中小型成長株ファンド ジェイネクスト（年2回決算型）／愛称：jnextⅡ」は、2025年7月22日に第19期決算を行いました。

当ファンドは、中小型成長株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、わが国の金融商品取引市場に上場する中小型株式に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざして積極的な運用を行いました。

ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

### 第19期末（2025年7月22日）

|            |          |
|------------|----------|
| 基準価額       | 23,073円  |
| 純資産総額      | 4,874百万円 |
| 第19期       |          |
| 騰落率        | 9.6%     |
| 分配金（税込み）合計 | 170円     |

（注1）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

（注2）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

（注3）当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しています。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>  
右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「当該ファンド」を選択 ⇒ 「目論見書・定期レポート等」を選択 ⇒ 「運用報告書（全体版）」より該当の決算期を選択ください。

# SBI 中小型成長株ファンド ジェイネクスト(年2回決算型) /愛称：jnextⅡ

追加型投信／国内／株式

## 交付運用報告書

第19期（決算日：2025年7月22日）

作成対象期間（2025年1月23日～2025年7月22日）

 **SBI Asset Management**

**SBI アセットマネジメント株式会社**

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

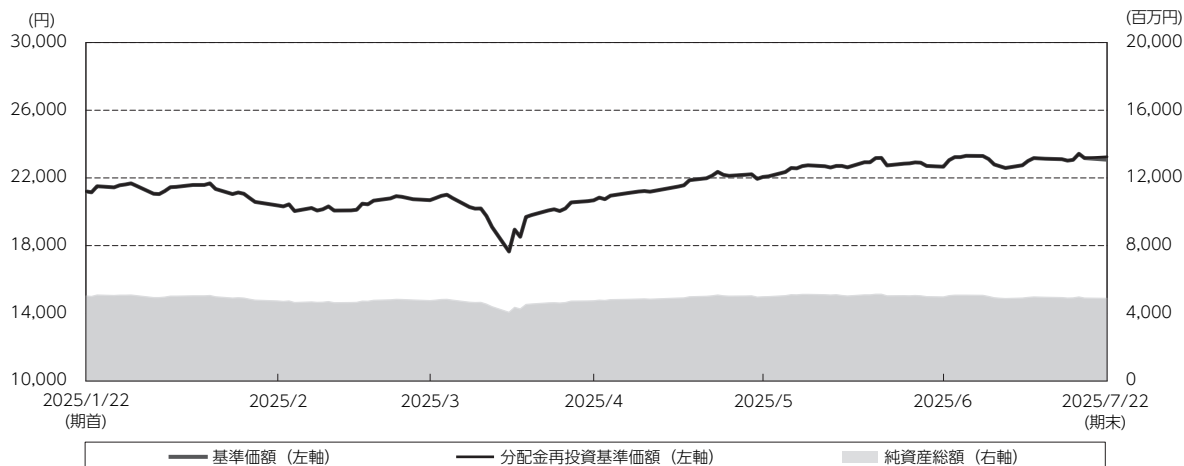
ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<https://www.sbiasset.co.jp/>

## 運用経過

## 基準価額等の推移

(2025年1月23日～2025年7月22日)



期 首：21,198円  
 期 末：23,073円 (既払分配金(税込み)：170円)  
 騰 落 率：9.6% (分配金再投資ベース)

- (注1) 当ファンドは、現時点では何らかの理由(課題・困難)により割安な株価ではあるものの、将来への成長機会を持つ(＝企業家精神溢れる)革新的な高成長が期待される企業の株式に厳選投資するという特色を持つファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用していません。
- (注2) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注3) 分配金を再投資するかどうかにについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注4) 分配金再投資基準価額は、期首(2025年1月22日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

## ○基準価額の主な変動要因

## 上昇要因

- ・米国景気の軟着陸(ソフトランディング)への期待
- ・人工知能(AI)関連の半導体需要増への期待によるハイテク株高
- ・自社株買いなどによる良好な需給状況
- ・米国関税交渉の進展
- ・2025年4月後半以降、外部環境の不透明感を嫌気して大型株が弱含みの展開となるなか、米関税政策の影響を受けにくい内需関連を中心に中小型グロース株が物色され大きく反発したこと。
- ・2025年5月から6月中旬にかけて好決算を発表した銘柄などが買われ、組入銘柄が大きく上昇したこと。

## 下落要因

- ・中東の地政学的リスクの上昇によるリスクオフ
- ・関税による米国景気後退懸念
- ・2025年2月に、米関税政策への警戒感が強まりリスクオフの流れが続いたことに加え、半導体関連株が調整したこと。
- ・2025年4月初旬に、トランプ米大統領による相互関税の発動及び米中貿易戦争懸念の高まりなどを受け国内株式が大きく下落したこと。

## 1万口当たりの費用明細

(2025年1月23日～2025年7月22日)

| 項 目                   | 当期       |            | 項 目 の 概 要                                 |
|-----------------------|----------|------------|-------------------------------------------|
|                       | 金 額      | 比 率        |                                           |
| (a) 信 託 報 酬           | 175<br>円 | 0.813<br>% | (a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率                   |
| ( 投 信 会 社 )           | ( 110 )  | (0.513)    | 委託した資金の運用の対価                              |
| ( 販 売 会 社 )           | ( 59 )   | (0.273)    | 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 |
| ( 受 託 会 社 )           | ( 6 )    | (0.027)    | 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価                   |
| (b) 売 買 委 託 手 数 料     | 15       | 0.071      | (b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数          |
| ( 株 式 )               | ( 15 )   | (0.071)    | ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料         |
| (c) そ の 他 費 用         | 5        | 0.025      | (c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数              |
| ( 監 査 費 用 )           | ( 1 )    | (0.006)    | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用               |
| ( 印 刷 )               | ( 4 )    | (0.020)    | 開示資料等の作成・印刷費用等                            |
| 合 計                   | 195      | 0.909      |                                           |
| 期中の平均基準価額は、21,508円です。 |          |            |                                           |

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 項目ごとに円未満は四捨五入しています。

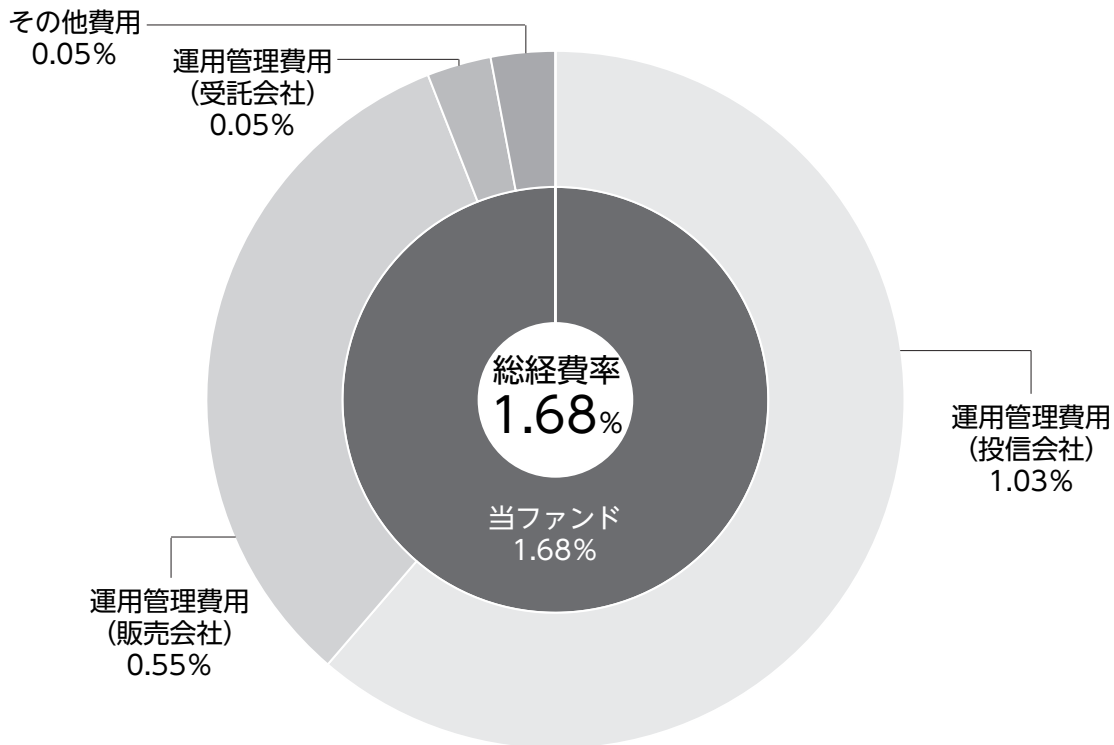
(注4) 売買委託手数料及びその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含まず。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## (参考情報)

## ○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.68%です。



(注1) 上記費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

(2020年7月22日～2025年7月22日)



(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2020年7月22日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

|                   | 2020年7月22日<br>決算日 | 2021年7月26日<br>決算日 | 2022年7月22日<br>決算日 | 2023年7月24日<br>決算日 | 2024年7月22日<br>決算日 | 2025年7月22日<br>決算日 |
|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 基準価額 (円)          | 19,607            | 25,777            | 22,094            | 22,406            | 22,384            | 23,073            |
| 期間分配金合計 (税込み) (円) | —                 | 125               | 0                 | 130               | 50                | 170               |
| 分配金再投資基準価額騰落率 (%) | —                 | 32.1              | △14.3             | 2.0               | 0.1               | 3.8               |
| 純資産総額 (百万円)       | 2,705             | 9,373             | 7,855             | 7,700             | 5,958             | 4,874             |

(注1) 当ファンドは、現時点では何らかの理由(課題・困難)により割安な株価ではあるものの、将来への成長機会を持つ(＝企業家精神溢れる)革新的な高成長が期待される企業の株式に厳選投資するという特色を持つファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用していません。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

(注3) 騰落率は1年前の決算当日との比較です。小数点第一位未満を四捨五入しています。

**投資環境**

(2025年1月23日～2025年7月22日)

当期、日本株式市場はほぼ横ばいとなりました。期初は、2025年2月末の米政権の対中半導体輸出の規制強化観測やエヌビディア決算発表後の米ハイテク株安から半導体関連株などが売られ、日経平均株価は38,000円を割って下落し、その後も米国の自動車関税導入や景気悪化への懸念から続落しました。4月2日には、トランプ米大統領が貿易相手国に対し想定よりも高い相互関税を課すことを発表したことで景気悪化への懸念が加速し、急落しました。その後、中国以外について関税上乘せ分の適用猶予が発表され、下落幅を縮小したものの、トランプ米大統領がパウエル米連邦準備制度理事会（FRB）議長解任を示唆し、円高が進行したことが嫌気され下落しました。4月下旬からは対中姿勢の緩和など市場に配慮した言動が相次いだことで急回復し、5月12日に米中が互いに課した関税率の想定以上の引き下げに合意すると騰勢を強めました。その後、対EU関税発動延期や堅調な米雇用統計を受けて続伸し期末を迎えました。

## 当ファンドのポートフォリオ

(2025年1月23日～2025年7月22日)

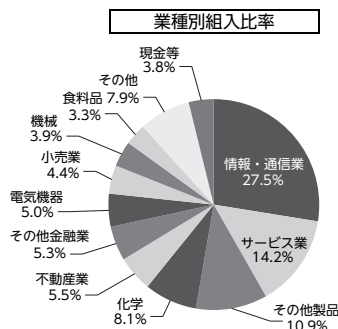
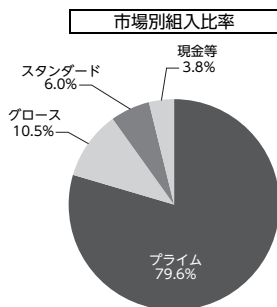
## &lt;当ファンド&gt;

主要投資対象である中小型成長株・マザーファンド受益証券を高位に組入れて運用いたしました。

## &lt;中小型成長株・マザーファンド&gt;

運用方針に基づき投資を行った銘柄は、成長の壁を経験しながらもこれを克服しようとすることで新たな成長のステージに入ろうとする革新的な高成長企業です。ボトムアップ調査を行った銘柄のうち、成長性・収益性・安全性・革新性・株価水準等を総合的に評価判断し、おおむね50銘柄を組入れ、逐次銘柄見直しを行いました。また、銘柄分散、時間分散を考慮し、1銘柄で最も組入比率の高いものでも4%程度としました。

なお、マザーファンドにおける株式の組入比率に関しては、おおむね95%以上の株式組入比率を維持しました。期末の株式組入比率は96.2%となっております。



※組入比率はマザーファンドの純資産総額比です。四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

**当ファンドのベンチマークとの差異**

(2025年1月23日～2025年7月22日)

当ファンドは、現時点では何らかの理由（課題・困難）により割安な株価ではあるものの、将来への成長機会を持つ（＝企業家精神溢れる）革新的な高成長が期待される企業の株式に厳選投資するという特色を持つファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用しておりません。

**分配金**

(2025年1月23日～2025年7月22日)

当期は、当ファンドの収益分配方針に基づき、収益分配可能額を算出し、市況動向や基準価額等を考慮した結果、下表の通りといたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

**○分配原資の内訳**

(単位：円、1万口当たり、税込み)

| 項 目       | 第19期                      |
|-----------|---------------------------|
|           | 2025年1月23日～<br>2025年7月22日 |
| 当期分配金     | 170                       |
| (対基準価額比率) | 0.731%                    |
| 当期の収益     | 170                       |
| 当期の収益以外   | －                         |
| 翌期繰越分配対象額 | 13,072                    |

(注1) 対基準価額比率は、当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の見通しと運用方針

### <当ファンド>

引き続き、主要投資対象である中小型成長株・マザーファンド受益証券を高位に組入れる方針で運用を行います。

### <中小型成長株・マザーファンド>

引き続き、エンジェルジャパン・アセットマネジメント株式会社の投資助言に基づき、革新的高成長が期待される企業の株式へ投資を行い信託財産の成長をめざします。

なお、投資助言を行っているエンジェルジャパン・アセットマネジメント株式会社では、以下のようにコメントをしています。

トランプ関税による株価の急落・反発を経て、株式市場では物色動向に変化が見られます。特に5月から6月中旬にかけては、好業績や強い会社計画を発表した新興株式、中小型グロース株の株価が大きく上昇し、ここ数年、業績が堅調なものの株価にその評価が反映されなかった銘柄ほど、その傾向は強く出ている印象です。株価低迷を経てバリュエーションの調整が進んだ中小型グロース株の再評価の機運が高まっているといえるでしょう。

当期も企業経営者の方々との個別直接面談調査を実施し、2025年1～6月は延べ520社となりました。組入企業について業績や今後の見通しについて精緻に分析を行うと共に、新たな投資助言候補の発掘にも努めてきました。

トランプ米大統領の政策が波乱要因となるような不確実性の高い相場環境では、自らの力により成長する革新成長企業に厳選投資をしている当ファンドの優位性が発揮される良い機会になると考えています。さらに、東証によるグロース市場改革のニュースフローも増えてきました。グロース市場へ上場している企業にも変化が期待されるなか、経営者の意思・意識について個別面談で議論を交わし、各企業の成長の実現可能性を見極めてまいります。

## お知らせ

投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。  
(変更適用日：2025年4月1日)

## &lt;当該約款変更につきまして&gt;

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更され、書面交付またはデジタル交付いずれかを選択できるようになりました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全等、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。

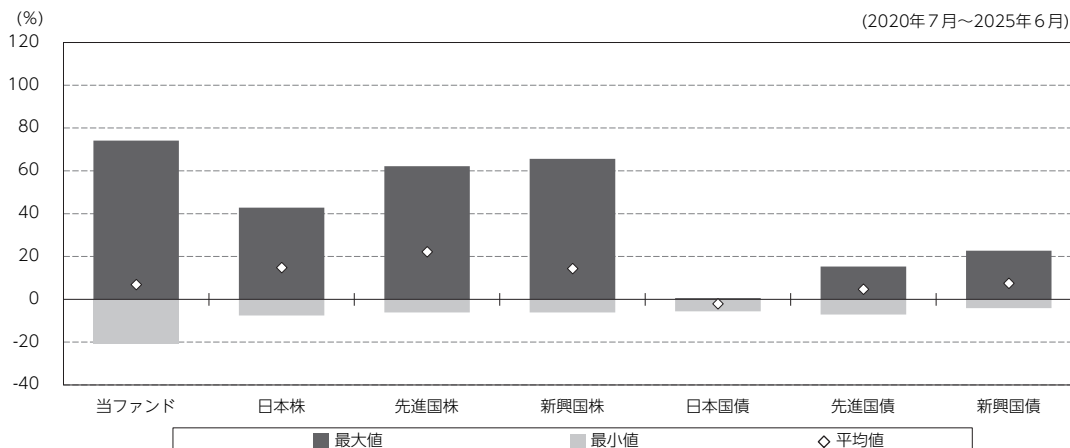
今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供ができるよう整備してまいります。

## 当ファンドの概要

|         |                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                           |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 商 品 分 類 | 追加型投信／国内／株式                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                           |
| 信 託 期 間 | 原則として無期限                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                           |
| 運 用 方 針 | 中小型成長株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、信託財産の中長期的な成長をめざして積極的な運用を行います。                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                           |
| 主要投資対象  | 当 フ ァ ン ド<br>( ベ ビ ー フ ァ ン ド )                                                                                                                                                                                                                                                    | 中小型成長株・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、株式等に直接投資することもあります。                                                       |
|         | マ ザ ー フ ァ ン ド                                                                                                                                                                                                                                                                     | わが国の金融商品取引所上場株式のうち中小型株を主要投資対象とします。                                                                        |
| 運 用 方 法 | 当 フ ァ ン ド<br>( ベ ビ ー フ ァ ン ド )                                                                                                                                                                                                                                                    | 主として、中小型成長株・マザーファンド受益証券に投資し、信託財産の積極的な成長をめざして運用を行います。<br>なお、運用にあたっては中小型成長株・マザーファンド受益証券の組入比率を原則として高位に維持します。 |
|         | マ ザ ー フ ァ ン ド                                                                                                                                                                                                                                                                     | わが国の証券取引所上場株式のうち中小型株を主要投資対象とします。<br>また、株式の投資に際しては、厳選した革新高成長企業の株式に分散投資します。                                 |
| 分 配 方 針 | 年2回（原則として1月と7月の各22日。ただし、休業日の場合は翌営業日。）決算を行い、原則として以下の方針に基づいて収益の分配を行います。配当等収益とマザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち信託財産に属するとみなした額と売買益（評価益を含みます。）との合計額から諸経費等を控除した金額の範囲とします。委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。収益分配にあてず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づき、元本部分と同一の運用を行います。 |                                                                                                           |

## (参考情報)

## ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

|     | 当ファンド  | 日本株   | 先進国株  | 新興国株  | 日本国債  | 先進国債  | 新興国債  |
|-----|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 最大値 | 74.1   | 42.8  | 62.2  | 65.6  | 0.6   | 15.3  | 22.7  |
| 最小値 | △ 20.5 | △ 7.5 | △ 6.1 | △ 6.1 | △ 5.6 | △ 7.1 | △ 4.1 |
| 平均値 | 6.8    | 14.8  | 22.2  | 14.3  | △ 2.2 | 4.7   | 7.5   |

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2020年7月から2025年6月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注4) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

## 《代表的な各資産クラスの指数》

日本株…Morningstar 日本株式指数

先進国株…Morningstar 先進国株式指数 (除く日本)

新興国株…Morningstar 新興国株式指数

日本国債…Morningstar 日本国債指数

先進国債…Morningstar グローバル国債指数 (除く日本)

新興国債…Morningstar 新興国ソブリン債指数

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、全て税引前利子・配当込み指数です。

\*各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

## 当ファンドのデータ

## 組入資産の内容

(2025年7月22日現在)

## ○組入上位ファンド

| 銘柄名            | 第19期末      |
|----------------|------------|
| 中小型成長株・マザーファンド | %<br>101.6 |
| 組入銘柄数          | 1銘柄        |

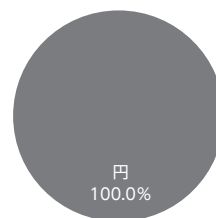
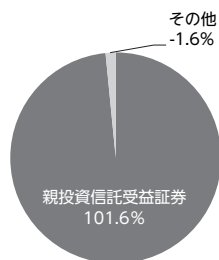
(注1) 組入比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

## ○資産別配分

## ○国別配分

## ○通貨別配分



(注1) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

## 純資産等

| 項目         | 第19期末          |
|------------|----------------|
|            | 2025年7月22日     |
| 純資産総額      | 4,874,266,568円 |
| 受益権総口数     | 2,112,546,160口 |
| 1万口当たり基準価額 | 23,073円        |

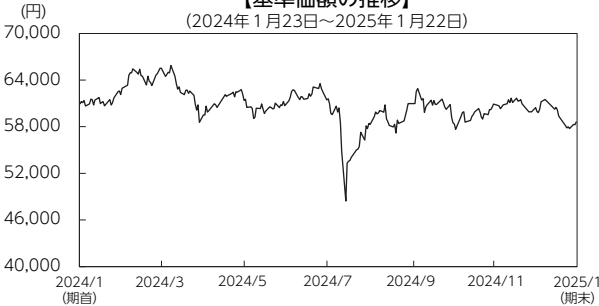
(注) 期中における追加設定元本額は56,847,924円、同解約元本額は313,769,644円です。

組入上位ファンドの概要

中小型成長株・マザーファンド

【基準価額の推移】

(2024年1月23日～2025年1月22日)



【1万口当たりの費用明細】

(2024年1月23日～2025年1月22日)

| 項目                         | 当 期         |                  |
|----------------------------|-------------|------------------|
|                            | 金額          | 比率               |
|                            | 円           | %                |
| (a) 売 買 委 託 手 数 料<br>(株 式) | 75<br>( 75) | 0.121<br>(0.121) |
| 合 計                        | 75          | 0.121            |
| 期中の平均基準価額は、61,706円です。      |             |                  |

(注) 上記項目の概要につきましては、P2をご参照ください。

【組入上位10銘柄】

(2025年1月22日現在)

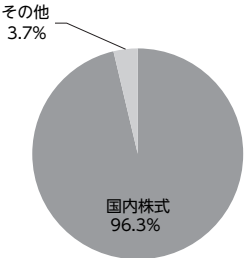
|       | 銘 柄 名                  | 業種/種別等 | 通貨    | 国 (地域) | 比率 (%) |
|-------|------------------------|--------|-------|--------|--------|
|       |                        |        |       |        | %      |
| 1     | ジャパンエレベーターサービスホールディングス | サービス業  | 円     | 日本     | 3.8    |
| 2     | 前田工繊                   | その他製品  | 円     | 日本     | 3.8    |
| 3     | プレミアグループ               | その他金融業 | 円     | 日本     | 3.7    |
| 4     | トーカロ                   | 金属製品   | 円     | 日本     | 3.6    |
| 5     | インソース                  | サービス業  | 円     | 日本     | 3.6    |
| 6     | ジャパンマテリアル              | サービス業  | 円     | 日本     | 3.5    |
| 7     | エムアップホールディングス          | 情報・通信業 | 円     | 日本     | 3.4    |
| 8     | メック                    | 化学     | 円     | 日本     | 3.4    |
| 9     | オブテックスグループ             | 電気機器   | 円     | 日本     | 3.2    |
| 10    | フィックスターズ               | 情報・通信業 | 円     | 日本     | 3.2    |
| 組入銘柄数 |                        |        | 51 銘柄 |        |        |

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しています。

(注3) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

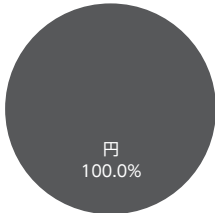
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 基準価額の推移、組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2025年1月22日現在のものです。

(注2) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

## <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

### <各指数の概要>

- 日本株：Morningstar 日本株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。
- 先進国株：Morningstar 先進国株式指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。
- 新興国株：Morningstar 新興国株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。
- 日本国債：Morningstar 日本国債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。
- 先進国債：Morningstar グローバル国債指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。
- 新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

### <重要事項>

本ファンドは、Morningstar, Inc.、又はモーニングスター・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc.が支配する会社（これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います）が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に本ファンドに投資することの当否、または本ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス（以下「Morningstarインデックス」と言います）の能力について、本ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。本ファンドとの関連においては、委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は本ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は本ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、本ファンドの基準価額及び設定金額あるいは本ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または本ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与しておりません。Morningstarグループは、本ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び／又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、本ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害（逸失利益を含む）について、例えばこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。